JASDAQ
【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社
決算説明会

2014年5月期第2四半期累計

平成26年1月10日

Contents

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

1．2014年５月期　第２四半期連結決算について

2．2014年５月期　見通しについて

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

Contents

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

1．2014年５月期　第２四半期連結決算について

2．2014年５月期　見通しについて

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 連結決算の概況

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位：百万円

	計画	計画対比	実績	前年対比	前年
売上高	2,300	102 4.5%	2,402	11 0.5%	2,391
営業利益	35	70 200.4%	105	9 10.4%	95
経常利益	50	73 147.2%	123	8 7.5%	114
当期純利益	25	39 156.7%	64	7 13.9%	56

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 連結決算総括①

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

売上高 前年比：+11百万円

交通システムが不調だったものの、
産業・公共システム、組込システムが好調

営業利益 前年比：+9百万円

交通で不具合対応と不採算のプロジェクトがあったものの、スマートフォン開発などでのアイドル減少や車載情報向け開発の増員などにより改善

経常利益 前年比：+8百万円

営業利益増加による

当期純利益 前年比：+7百万円

前年の有価証券評価損（10百万円）の減少による

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期
連結決算総括②

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

【トピックス】

- 請負化、オフショア開発が進展
- 顧客のグローバル化に向け、積極的に提案を行うも
  成果は限定的
- 案件の引き合いが増加
- パートナーの活用、人材採用を強化
- 新規顧客獲得のための営業活動の成果芽吹く
- 業界団体のワーキンググループ活動を継続

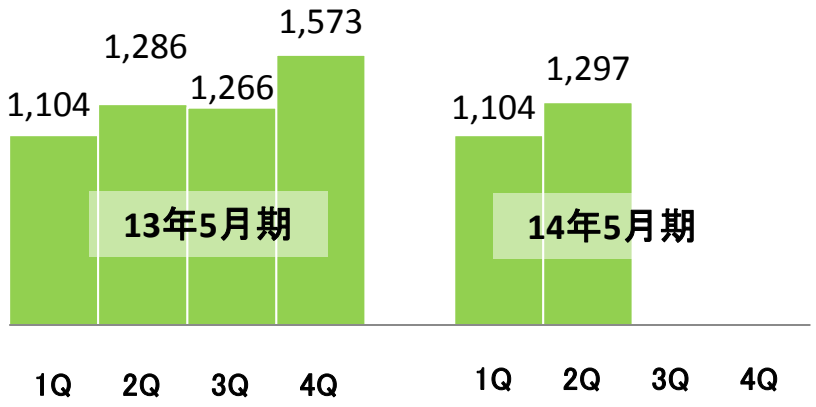
Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 連結決算の概況(四半期推移)

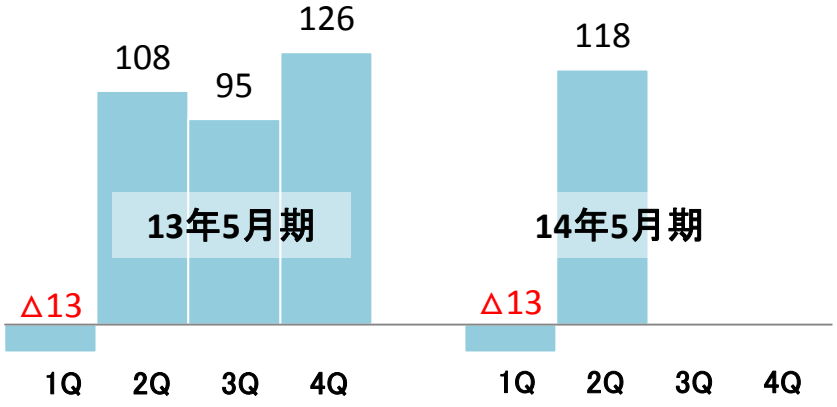
日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位:百万円

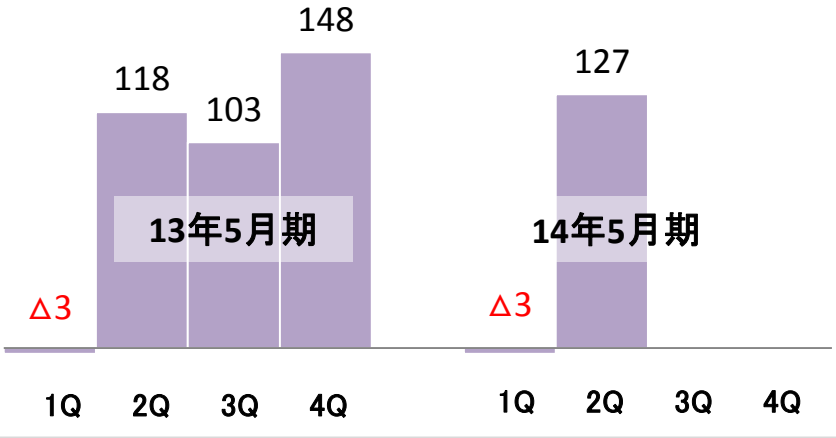
売上高



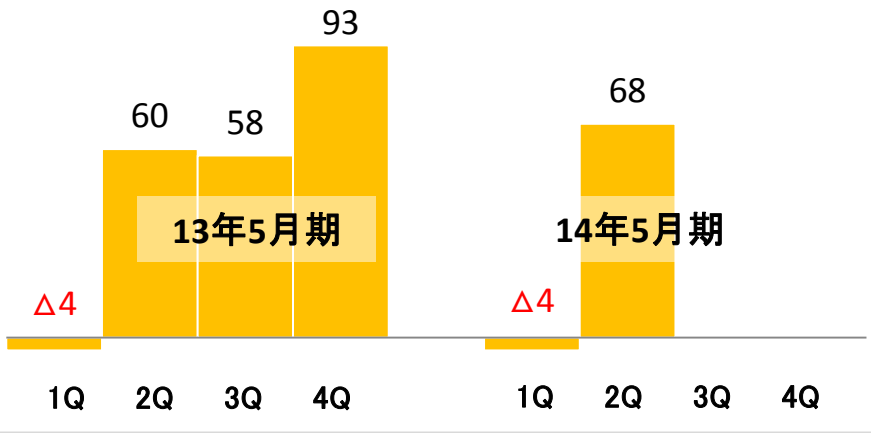
営業利益



経常利益



当期純利益



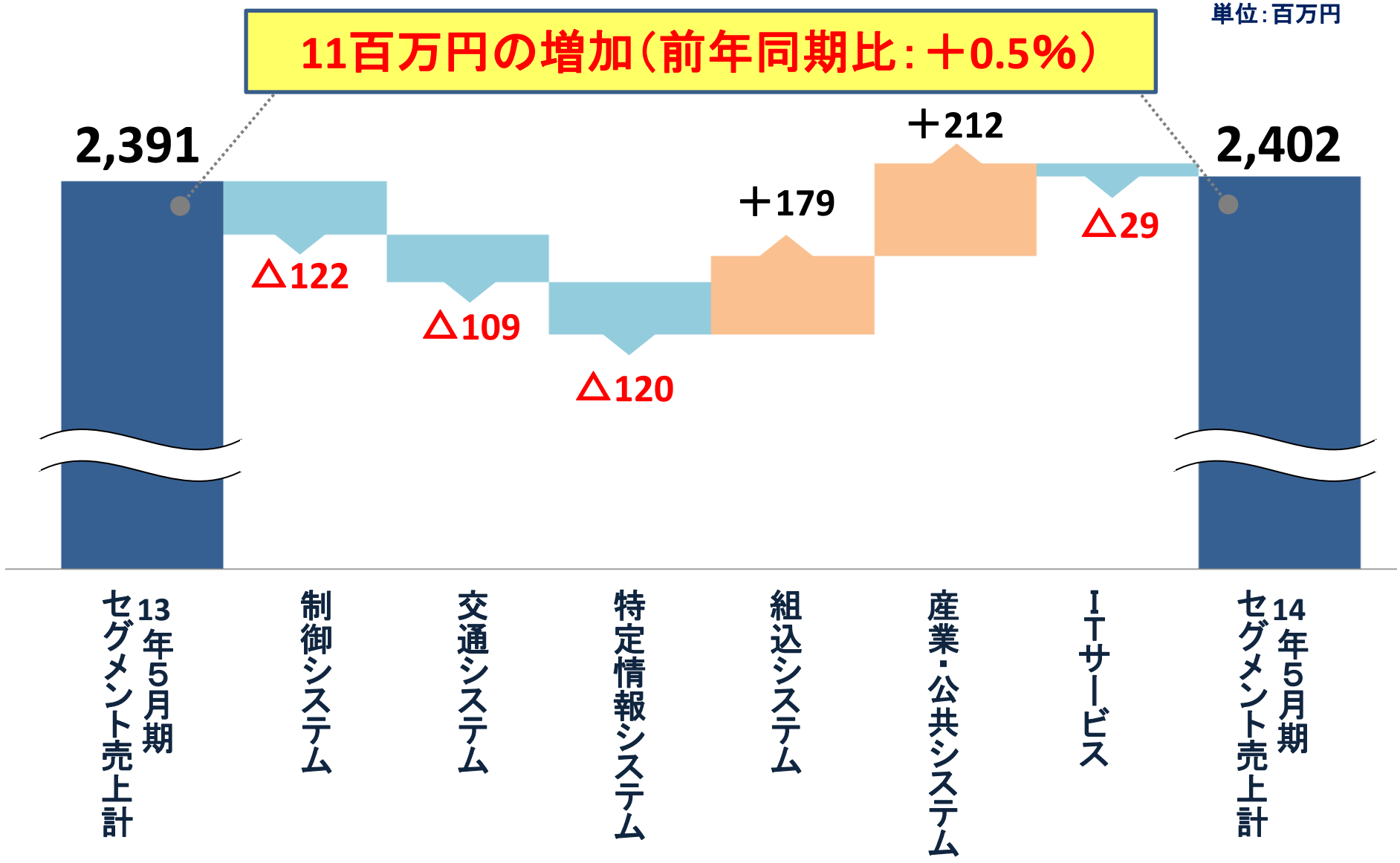
Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別売上増減

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位：百万円

11百万円の増加（前年同期比：＋0.5%）



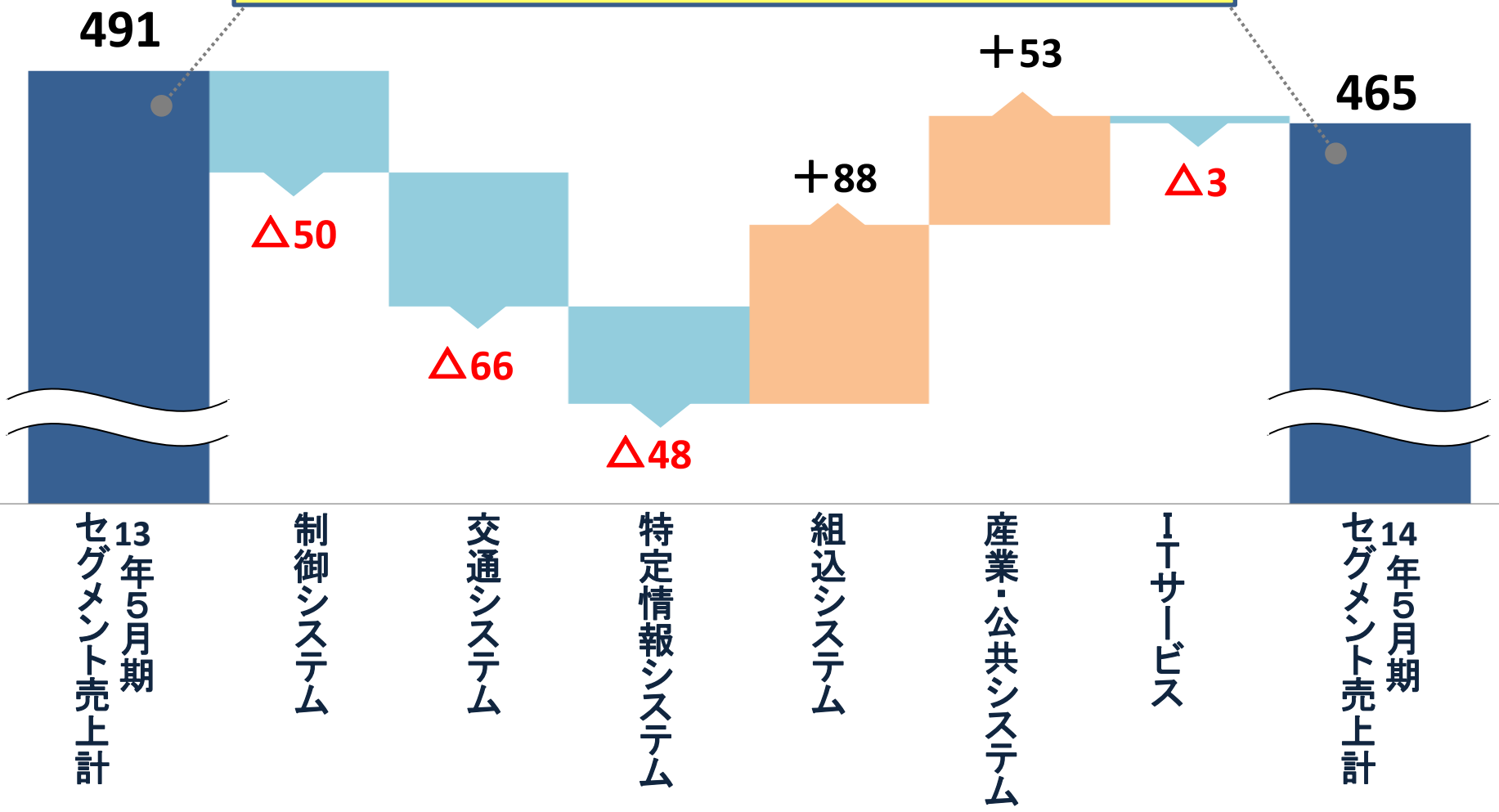
Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別利益増減

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位：百万円

25百万円の減少（前年同期比：△5.2%）



※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別の状況①

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

制御システム

●国内の発電所関連のシステム開発量が減少
　・担当範囲の拡大を図るも売上、利益とも減少
　・海外案件は増加するも単価低下のため、
　　大連の子会社を活用し原価を低減
●次世代自動車向けの電動化案件が好調

単位：百万円

セグメント		13年5月期（利益率）	14年5月期（利益率）	増　減（増減率）
制御システム	売上	531	409	△122（△23.0%）
	利益	125（23.7%）	75（18.5%）	△50（△39.8%）

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別の状況②

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

交通システム

- 北陸および北海道新幹線延伸は横ばい
- 新幹線はシステム開発サイクルが一巡
- 海外鉄道案件のシステム開発時期の遅れ
- 在来線は大型開発が減少

単位：百万円

セグメント		13年5月期（利益率）	14年5月期（利益率）	増　減（増減率）
交通システム	売上	277	168	△109（△39.4%）
	利益	39（14.3%）	△26（△15.7）	△66（ー）

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別の状況③

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

特定情報システム

- 新たに受託した危機管理関連が製造フェーズに移行し、徐々に拡大
- 環境資源関連も拡大
- 全体としては、特需であった大型請負プロジェクトの終了に伴い、前期より売上、利益とも減少

単位：百万円

セグメント		13年5月期（利益率）	14年5月期（利益率）	増　減（増減率）
特定情報システム	売上	368	248	△120（△32.6%）
	利益	106（28.9%）	58（23.6%）	△48（△45.1%）

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別の状況④

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

組込システム

- スマートフォン開発は山谷あるも横ばい、アイドルが減少し、増益
- 車載情報システムの開発は、従来からの案件が堅調、新たな中規模案件も受託し体制拡大
- SSD（ストレージデバイス）開発は堅調

単位：百万円

セグメント		13年5月期（利益率）	14年5月期（利益率）	増　減（増減率）
組込システム	売上	358	538	179（50.2%）
	利益	47（13.2%）	135（25.2%）	88（186.6%）

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別の状況⑤

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

産業・公共システム

- ICカードシステム開発は新たな官公庁向けを受託
- 次世代の駅務機器システム開発に着手
- スポーツ関連システム開発は製造フェーズに入り、大連にてオフショア開発を推進
- 顧客の業務拡大によりコンテンツ管理製品などの開発は堅調

単位：百万円

セグメント		13年5月期（利益率）	14年5月期（利益率）	増　減（増減率）
産業・公共システム	売上	370	583	212（57.3%）
	利益	84（22.7%）	138（23.7%）	53（63.9%）

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 セグメント別の状況⑥

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

ITサービス

- 検証業務は顧客の商品開発の減速やオフショア化により減少
- 構築業務は技術教育のためのオーバーアサインや受注単価低減などで売上、利益とも減少
- 保守/運用サービスは会計システムが好調

単位：百万円

セグメント		13年5月期（利益率）	14年5月期（利益率）	増　減（増減率）
ＩＴサービス	売上	484	454	△29（△6.1%）
	利益	87（18.0%）	83（18.4%）	△3（△4.1%）

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

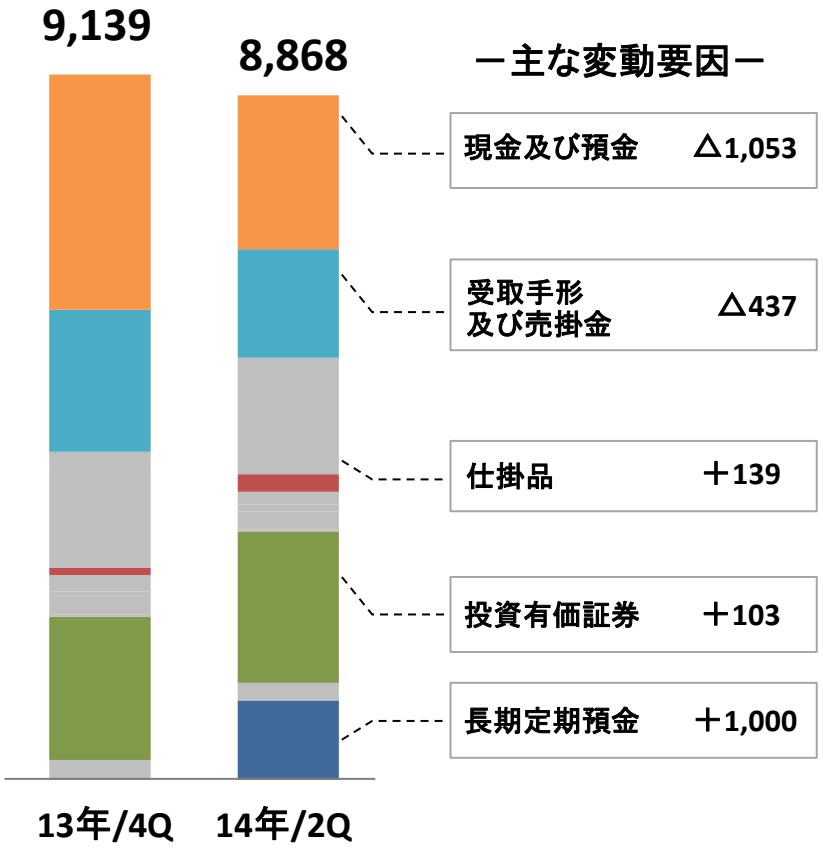
連結財務状況

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位：百万円

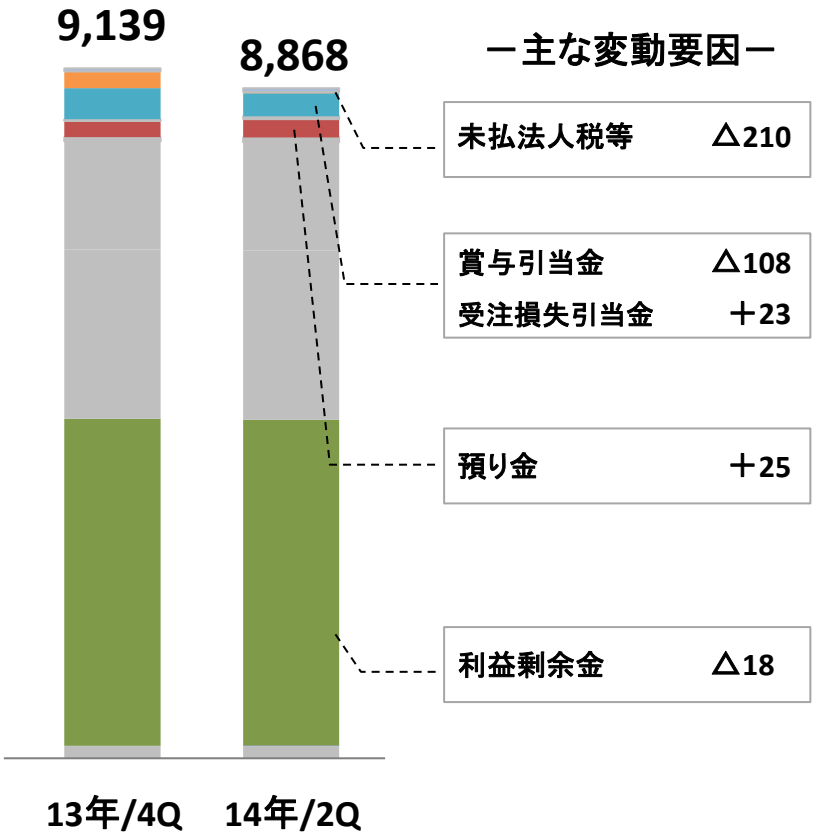
資産の部

資産：270百万円の減少



負債/純資産の部

負債：258百万円の減少
純資産：12百万円の減少



Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

財務指標(その他)

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

	13年5月期	14年5月期 第2四半期	(ご参考) 13年5月期 第2四半期
純資産額	8,133百万円	8,121百万円	8,061百万円
1株当たり 純資産	1,466.86円	1,464.62円	1,453.87円
1株当たり当期 (四半期)純利益	37.59円	11.58円	10.16円
自己資本比率	89.0%	91.6%	92.1%
自己株式	200,092株	200,092株	200,092株
従業員数	559人	543人	532人

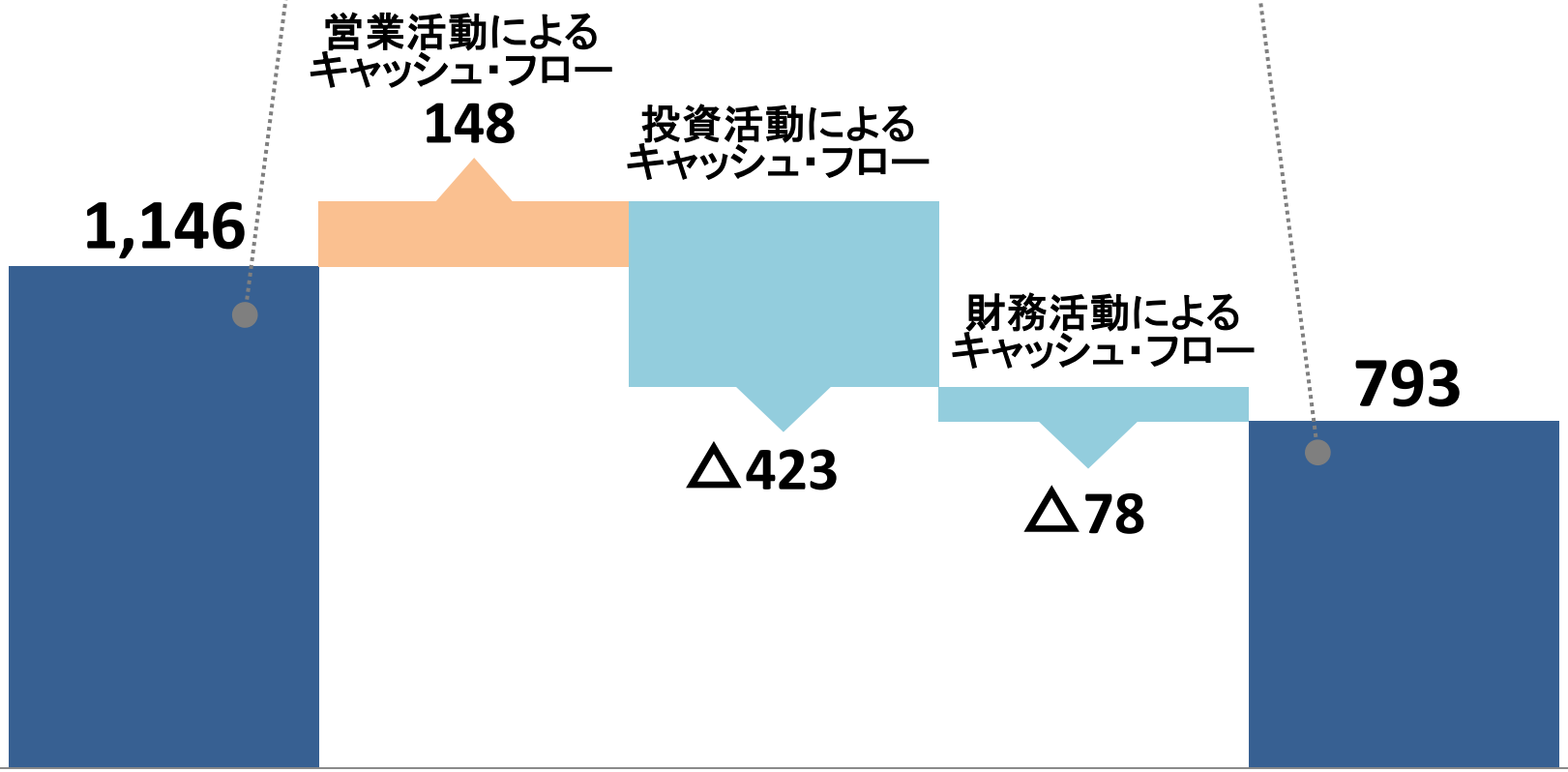
Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位：百万円

期首残高より353百万円の減少



現金及び現金同等物の
期首残高

現金及び現金同等物の
期末残高

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

Contents

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

1．2014年５月期　第２四半期連結決算について

２．2014年５月期　見通しについて

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期　基本方針①

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

重点取組み課題

（1）新たな注力分野の発掘

①技術の先行取得（機能安全、形式手法等）

②業界活動の継続

③全社横断的で機動的な営業体制の推進

（2）顧客とともにグローバル化を推進

①標準化（パッケージ化、共通化、国際標準化）

②低コスト化

③上記の視点から顧客に積極提案

（3）T-SES（トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス）の継続

フェーズ、機能、業務、コントロール範囲の拡大に加え、
それを支える開発スタイルを確立し、付加価値を向上

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期　基本方針②

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

重点取組み課題の取組み状況

（1）新たな注力分野の発掘

・先行技術取得プロジェクトの立ち上げ

・外部講師を招へいしオブジェクト指向、機能安全、形式手法教育を実施

・JASA（組込みシステム技術協会）、JSCA（スマートコミュニティ・アライアンス）、PMIJ(日本プロジェクトマネジメント協会)などのワーキンググループに積極参加

・組織を横断した営業会議の実施

（2）顧客とともにグローバル化を推進

・中国大連でのオフショア開発の推進（前期70M→今期155M見込）

（3）T-SES（トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス）の継続

・産業・公共システムのスポーツ関連システム開発で大規模請負受託

・交通システムの在来線システム開発で複数機能を一括請負受託

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期の見通し①

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

制御システム

- 変電所監視、蓄電池、EAM、クラウド化などへ業務範囲拡大を狙う
- 火力監視制御の次世代システム開発の提案継続
- 次世代自動車の電動化案件は好調が継続
- モデル開発の技術力向上で生産性も向上
- 自動車の機能安全に注力

交通システム

- 不採算プロジェクトの撲滅、総点検により損益改善
- 業務範囲の拡大と請負化の推進
- オフショア開発の促進

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期の見通し②

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

特定情報システム

- 危機管理関連は請負案件が増加し、体制拡大
- 環境資源関連は危機管理の応用分野で衛星画像システム案件などを新規に獲得
- 数理計算、難アルゴリズムなどのスキルを活かし新規分野を開拓

組込システム

- 近距離無線技術を武器に部品メーカーを中心に新規顧客を開拓
- 車載情報システムは新規案件が本格的な開発フェーズに入り、体制拡大
- 半導体関連は現行技術を活かし、新規顧客へ展開

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期の見通し③

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

産業・公共システム

- スポーツ関連システムの完遂を図り、二次開発への提案を強化
- 駅務機器は次世代機、消費税対応などで繁忙
- 請負化、オフショア開発の促進を継続

ITサービス

- システム構築技術の教育を強化し、業務を拡大
- 検証業務は、ハードウェア検証まで業務を拡大
- 単なる運用業務からITサービスマネージメント全領域へサービス拡大

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

2014年5月期 連結数値計画

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

単位：百万円

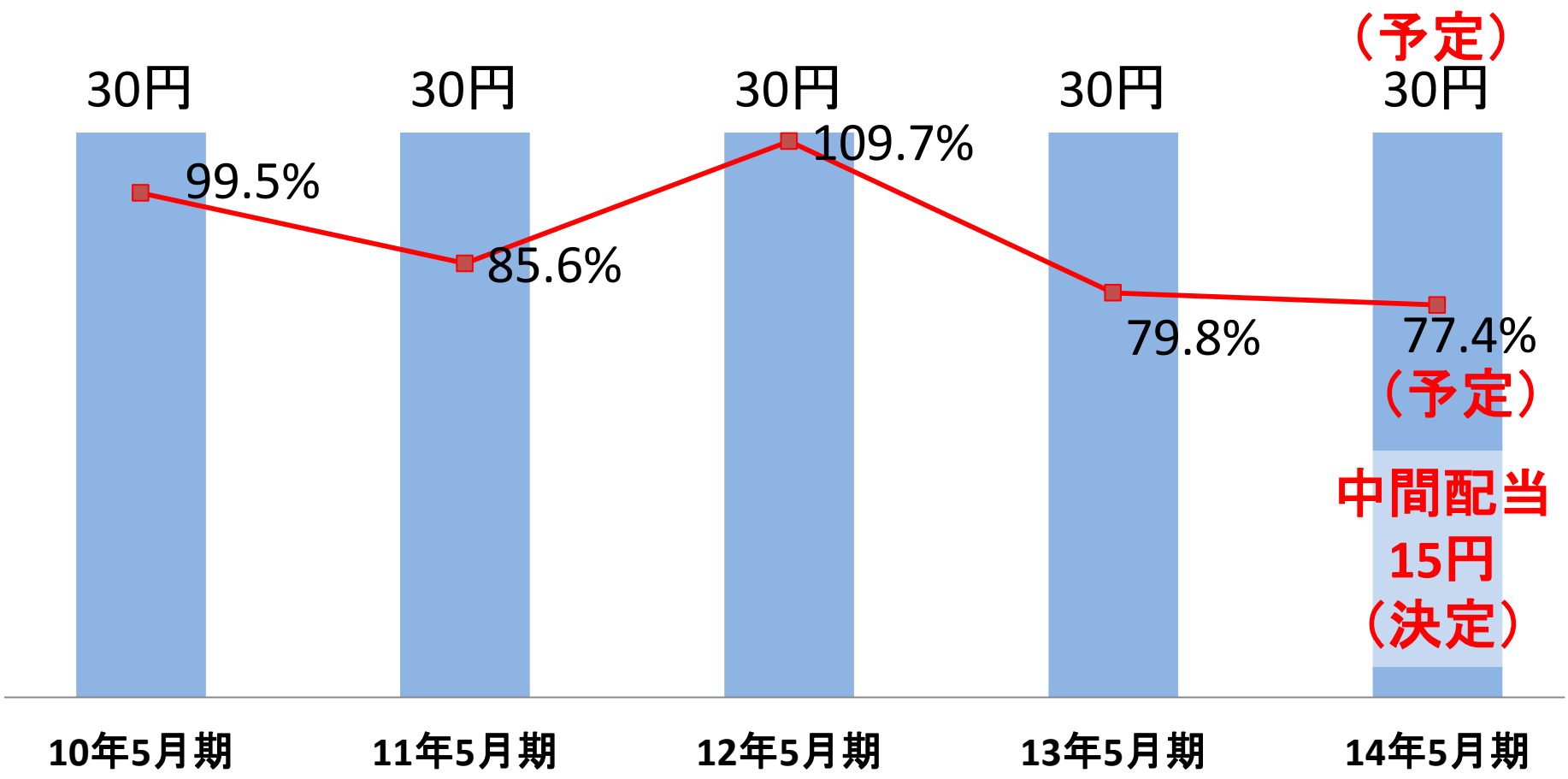
	13年5月期 実績	14年5月期 見通し	増減額 (増減率)
売上高	5,230	5,300	69 (1.3%)
営業利益 (営業利益率)	316 (6.1%)	340 (6.4%)	23 (7.4%)
経常利益 (経常利益率)	366 (7.0%)	385 (7.3%)	18 (5.0%)
当期純利益 (当期純利益率)	208 (4.0%)	215 (4.1%)	6 (3.1%)

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

株主配当の推移

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策として位置付け、
安定的な配当の継続と配当性向50%以上を目標として実施してまいります。



Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved

最後に

日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

『T-SES』で企業価値を向上し、

社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します。

※T-SES（トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス）

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問合せ　　経営企画部　部長　米島英紀
keikibu@jpd.co.jp

Copyright 2014 JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO., LTD. All rights reserved